

「服は国内で循環するもの」という新しい常識・文化を作る取り組み事例

- 回収・裁断・紡績は全て国内で実施する環境に優しいリサイクルシステム。
- 「ペットボトル」「コットン」「ウール」「羽毛(ダウン)」の4つの素材をリサイクルし、新たな製品に生まれ変わらせる。

豊島株式会社における事例

取組み概要

不要になった衣服や原料を集めてリサイクルし、新たな製品に生まれ変わらせるプロジェクト「WAMEGURI」

現状は以下4つの素材を取り扱っている。

- ペットボトル：商業施設やスポーツのスタジアムからペットボトルの回収等を行い、粉砕してフレークにし、きれいに洗浄する。その後熱をかけポリエステル繊維にしていく。洋服の他にショッピングバッグ等の雑貨にも活用できる。
- コットン、ウール：消費者の方々に着なくなった服を店頭等に持ち込んでもらう。回収した衣服の不要な部分は工場除去し、裁断、反毛(※不要になった繊維を専用の機械を使ってもう一度わた状に戻すこと)の工程を経て糸にしていく。その糸が新しい洋服や靴下等の原料となる。
- 羽毛(ダウン)：不要になった羽毛布団やアウターなどの製品を回収してダウンを取り出し、洗浄して汚れ等を取り除き、乾燥させる。この工程によって綺麗になったダウンは、ダウンコート等に使用できるようになる。



効果

- 不要になった衣服を資源として再利用できることで、ごみとして廃棄されてしまっている現状を変え、限りある地球資源を守ることに繋がる。

企業名



豊島株式会社

設立年

1942年

売上高

181,450(百万)円

企業概要

- 1841年創業。
- 世界各地から原料・糸・生地 の買付け・販売や、最終製品の企画から生産管理、納品まで総合的に事業を展開。
- また、持続可能なライフスタイル提案企業としてさまざまなサステナブル素材の開発と提供、そしてテックベンチャーへの投資やスマートウェアの開発を推進。
- 2019年より、「MY WILL(マイ・ウィル)」をステートメントとし、サステナブル&テクノロジーに対する同社の姿勢を打ち出している。